

# 臨床研究・臨床への橋渡し研究(TR)の問題点と これを担う若手人材育成の重要性

科学振興調整費・連携施策でTR人材育成を実施して学んだこと  
そこからの提言

岡山大学・大学院 医歯科学専攻長  
医学部教授(第一生理学教室)

松井秀樹

注: TR=Translational Research 臨床への橋渡し研究  
OJT=On the Job Training 現場での実践トレーニング

# 臨床研究

患者研究・疾病メカニズム  
の研究、治験、疫学研究

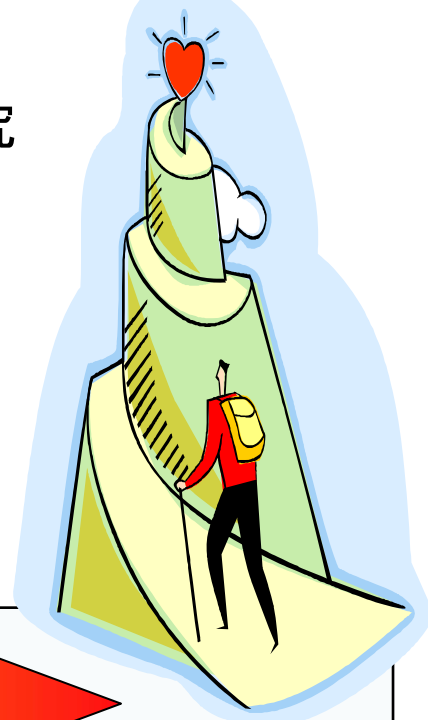


新しい治療法  
や薬の開発

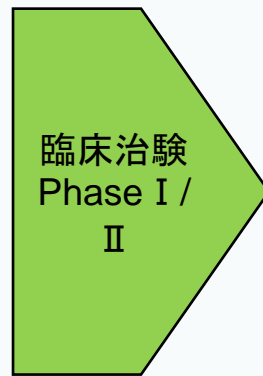
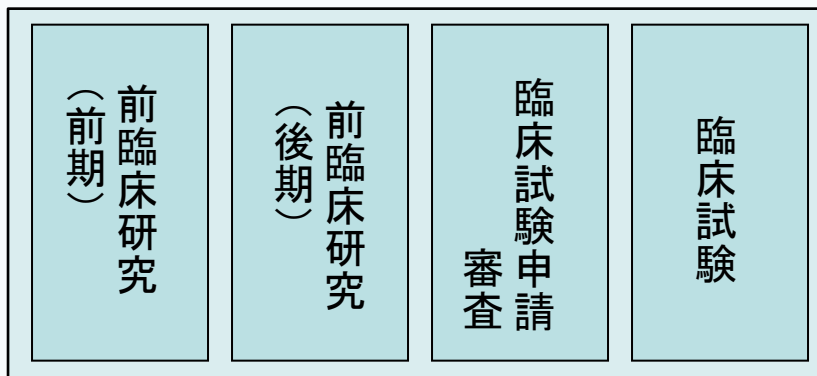
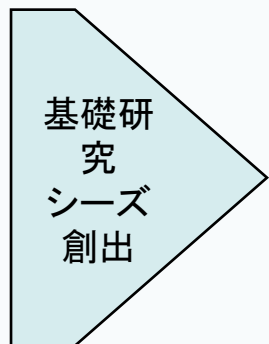


医学・生命科学研究  
の出口  
社会への還元

- ・いかに素晴らしい基礎研究の成果も臨床研究がなければ国民・患者さんには還元できない。
- ・臨床研究には長い時間と巨額の資金が必要である。

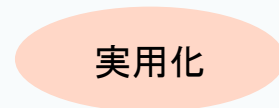


## 臨床研究 (基礎から臨床へ)



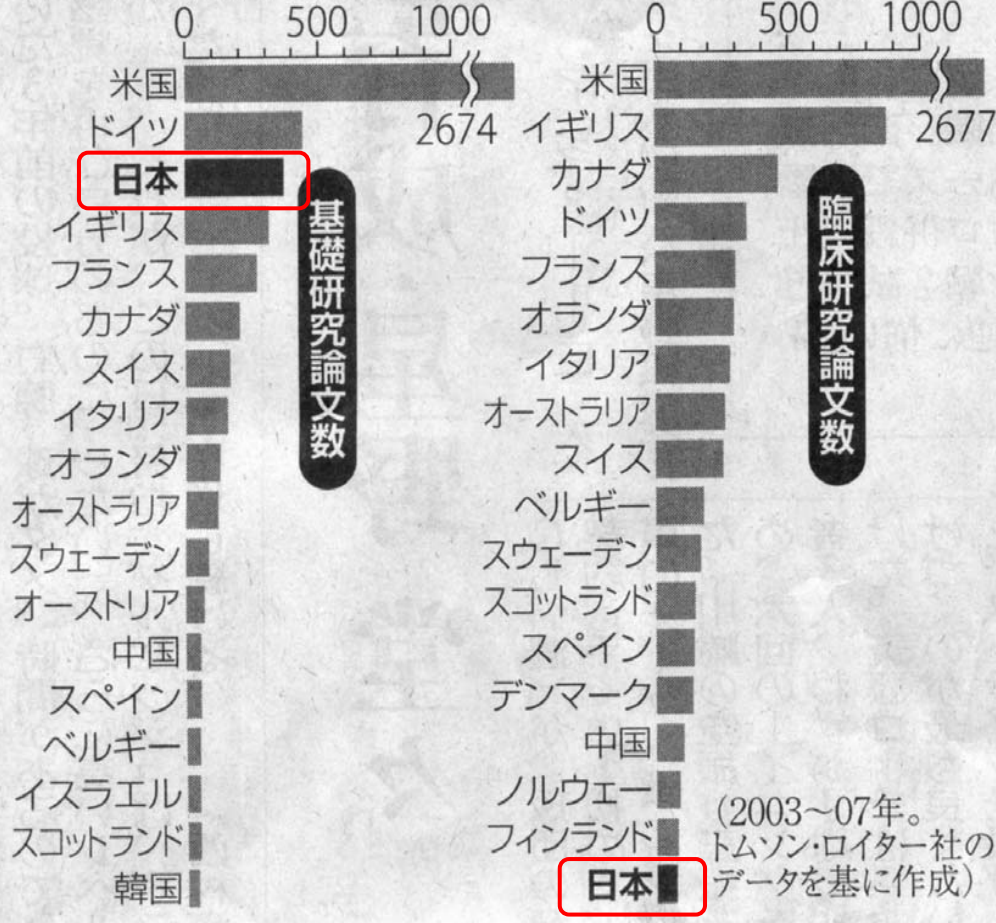
開発段階

← 実用化後



# 日本の臨床研究・TRの憂うべき現状

◆ 基礎、臨床分野の主要3誌に載った医学論文数



## 背景

- ・臨床研究の評価が低い
- ・結果(論文)をまとめるのに時間と労力が必要
- ・人材育成システムが無い
- ・体制・施設の不備

担い手が絶対的に不足



人材育成システム構築  
と教育実践(若手医師)を行った

2010年3月7日読売新聞より抜粋

# 臨床研究の正のスパイラルによる循環型発展

臨床研究推進力

(臨床研究の推進)  
(狭義のTR)

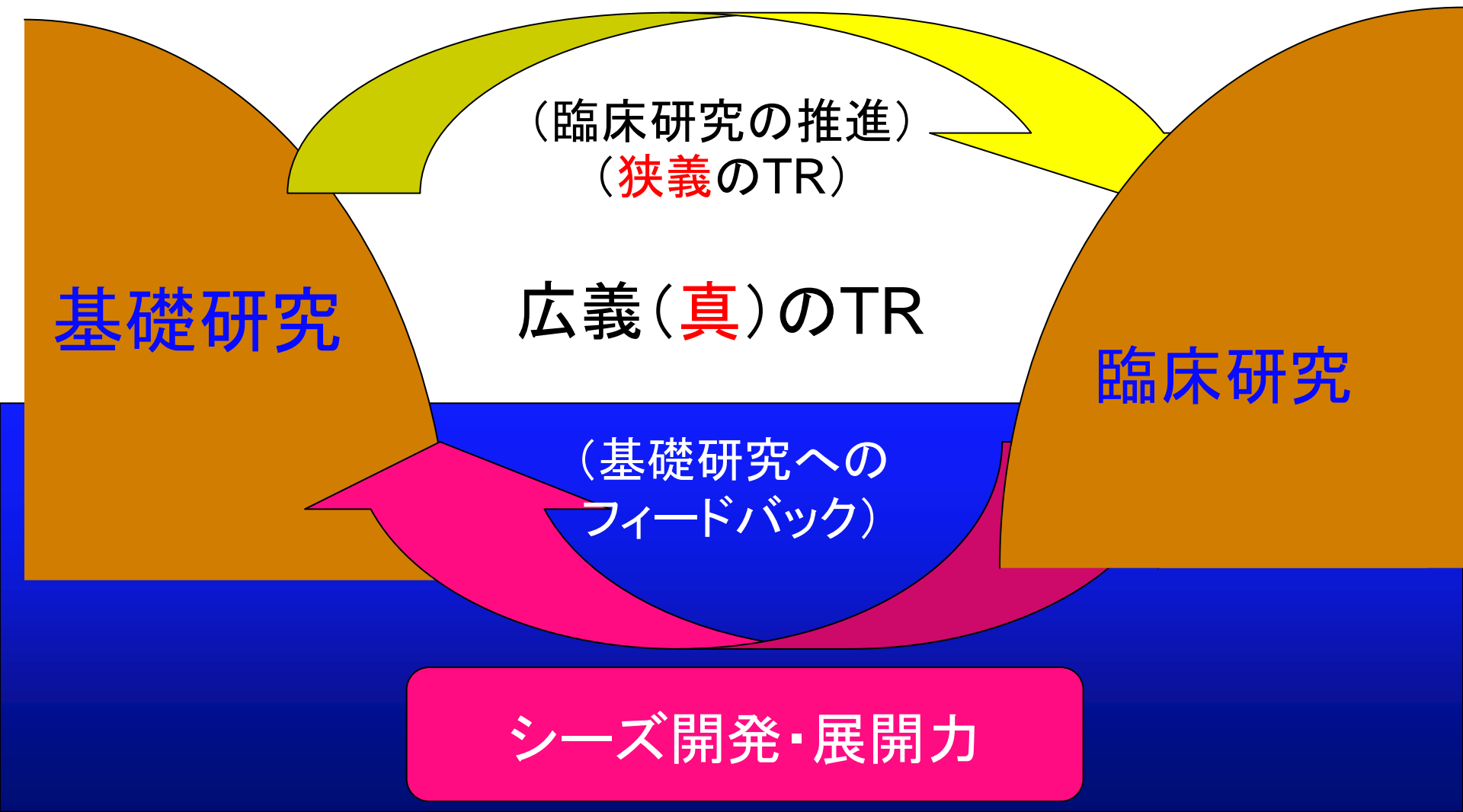
広義(真)のTR

基礎研究

臨床研究

(基礎研究への  
フィードバック)

シーズ開発・展開力



# 岡山大学を中心としたTR人材育成の取り組み



岡山大学

山口大学

鳥取大学

川崎医科大学

香川大学

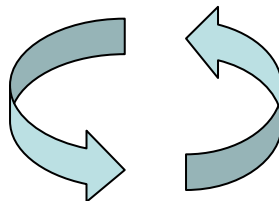
四国がんセンター

若手医師4名を特任助教に採用

臨床研究推進力の育成

シーズ開発・展開力の育成

基礎研究



臨床研究

双方向の臨床研究ができる若手医師

高度な臨床研究から発して**新たな医療シーズを生み出せる能力**を育成する

プロジェクト・スーパーバイザー委員会

プロジェクト評価委員会

研究の公募、研究費配分  
研究の助言・指導

特任助教をリーダーとする  
ユニット型研究の実施

実証(研修)評価委員会

カリキュラム策定委員会

カリキュラム作成

座学・海外派遣

臨床研究の  
実践教育(OJT)

研修ノートによる評価システム

遺伝子・細胞治療に携わる若手臨床研究医師育成プログラムを開発し教育を実施した。  
TRを専門に実施する新医療研究開発センター設置(H21年度)

# 明確なキャリアパスの提示

## 岡山大学

- ・4名の特任助教 → H22年度4月より**助教**として**正式採用**。  
医局とは独立し、TRを継続するポジション。
- ・2名のOJT mentor(スーパーバイザー)准教授  
新医療研究開発センター・**教授**に就任。  
→ 消化器腫瘍外科(第一外科)の**教授**に就任。  
→ **TR実績を重視**した選考

## 地域連携 TR人材育

- ・四国がんセンター<sup>成</sup> 臨床試験支援室 → 助教2名の要請
- ・香川大学 先端医療開発センター設置 → 助教1名の要請